



陶都のまもり

多治見警察署からのお知らせ

多治見警察署 (☎0110)

夜間における交通事故防止のポイント

ドライバーの皆さんへ

交通事故は夕暮れ時から夜間の時間帯に多く発生しています。自車の存在をアピールするためにも、早めのライト点灯を実践しましょう。また、夜間のヘッドライトはハイビームが基本です。先行車や対向車がない場合は、ライトをハイビームにして早く危険を発見するように努めましょう。



自転車利用者の皆さんへ

自転車は、夜間やトンネル内などにおいて、後続の自動車からライトで照射したとき（約100メートルの位置）に、その反射光が容易に確認できる反射器材などを備えていなければいけません。このほか、タイヤスポークなどにも反射材を装着し、側方にも自身の存在をアピールしましょう。

歩行者の皆さんへ

夕暮れ時や夜間は、周囲が見えにくくなります。車のライトがついていても、運転者から歩行者が見えているとは限りません。道路を横断する時は、しっかり安全確認をするとともに、横断歩道を渡りましょう。また、反射材は車のライトなどを反射して光ります。運転手に早く気づいてもらうためにも、反射材を身に付けて自分の存在をアピールしましょう。



ようこそ手話の世界へ

これまでに紹介した手話写真の動画を見ることができます。



福祉課 (内線217)

緊急時の連絡手段「NET119」

電話ができない方の多くは、緊急時に消防署に連絡を取れないでいます。その対策として、あらかじめ記入事項が示されている用紙を使いFAXで消防署に連絡する「FAX119」という方法がありましたが、しかしこの方法では、FAXのある場所からの通報のみとなり、会話のやりとりができません。このため総務省は、インターネットを活用した「NET119」の全国普及に動き、昨年度、県下でもほとんどの市町村で運用が開始されました。土岐市では、昨年10月に聴覚障がいと言語障がいの方に案内が送付されています。「NET119」システムは、GPSを活用するため現在地も即座に分かり、市外・県外でも対応が可能です。障がいをもっていても自分が、スマホから直接通報できる「NET119」を登録すれば、いざというときに役に立ちます。

その他「NET110(警察)」「NET118(海上保安庁)」システムが整備されていて、緊急時に役立つ実例もあります。

かんたん手話講座

「晴れると良いですね」

「晴れ」



交差した手を



広げる

「良い」



拳を鼻から前へ

